

宮城県支部 新春賀詞交換会句会成績

日時 令和六年一月二十七日(土)

場所 東京エレクトロンホール宮城

遠藤由樹子選(本部派遣選者)

○特選

待春や子牛の首にウオーマー

小林 雅子

川普請胴突き唄は聞こえぬか

大沼せつ子

ふるさとの雪漕ぎありく夢の中

福田 圧知

○秀逸

手を合はせ神の息聞く初日の出

高村 龍彦

北限の粗樫仰ぐ初詣

酒井美代子

牛乳は朝のほひや雁のこゑ

鈴木 勝也

石路咲くや術後の友と何話そ

高村 龍彦

着ぶくれの婆たごまつておしよすいと

富田 洋子

○互選高得点句

冬満月厩舎の闇に子牛の眼

安達 朝子

餅花のしだるる女流書道展

富田 洋子

大鍋をさかさに乾して寺小春

高平 悦子

湧き水に晒し山家の凍み大根

三浦 克實

棒立ちに終るヨセフや聖夜劇

柏原 眠雨

立ち上がる涛に影透く鮭の群

大河せつ子

風花やかつてここに大手門

寒河江桑弓

白菜のかがやきを抱き妻若し

橋階美美子

永遠の達磨の問ひや冬銀河

手老 省三

置炬燵親子三代理系女子

平塚 孝子

みちのくの闇深うして雪霏々と

佐々木三太郎

地球儀にしるす戦場虎落笛

遠藤 克子

自然薯掘る縄文遺跡掘る如く

京極 久也

お下がりの木箱の絵の具春近し

田村 恵子